

山忠 高島建設(札幌市)

常務取締役 柴田竜久氏

工務店×建築家

ナカノ設計店(札幌市)

代表 中野剛育氏



ゼロカーボン ヴィレッジ対談

第10回



外観

地域工務店と建築家が協働グループを組んで北方型住宅ZEROの住まいづくりを行う空知管内南幌町の「みどり野ゼロカーボンヴィレッジ」。現在11グループの基本プランが公開され、オーナーを募集 중이다。工務店と建築家がどのような考えでこのプロジェクトに参加し、どのように協働していったのか、対談形式で内幕を聞くシリーズ。第10回は山忠 高島建設(札幌市)常務取締役の柴田竜久氏とナカノ設計店(同)代表の中野剛育氏。これまでも協働の機会があったという二人が大切にしたのは変化できるプランだった。

シンプル×動線の工夫Ⅱ対応力

山忠 高島建設は、自社の大工職人や現場監督にとって、自社企画だけでは培えない経験値になるとの考えのもと、以前から積極的に建築家と協働している。

中野氏がナカノ設計店を立ち上げたのは2022年のことだが、山忠高島建設とは独立前に勤めていた設計事務所でも付き合いがあった。これまで5〜6件ほど協働の経験があり、すでに信頼関係はできていたという。

中野 きっかけは、こちらから一緒にやりませんかとお誘いしました。柴田 お話をいただいて、南幌町は一般住宅用地です。数件建てていましたので、いい話ですねということですので進みました。

実績を活かして設計
中野 きっかけは、こちらから一緒にやりませんかとお誘いしました。柴田 お話をいただいて、南幌町は一般住宅用地です。数件建てていましたので、いい話ですねということですので進みました。

この北海道特有のM型屋根を最初の足掛かりにして、それぞれ子ども部屋と大人の寝室をボックス状に配置しました。そして、部屋と部屋の間の空間をリビングにする、より外とつながった空間になるんじゃないかなという。そういう流れで形を決めていきました。

柴田 私はこのプランを見た時に、柔軟に変化に対応できるプランでいいなと思いました。シンプルで、例えばお子さんが増えたとか、部屋を大きくしたいとか、ケースに応じて幅広い対応ができるなど。

中野 このプランの強みは、複数の動線計画です。ここは最近の住宅プランの傾向を見ながら工夫した点です。例えば、玄関を入ってすぐ右手が子供部屋ですが、この部屋には玄関土間から直接入ることもできて、将来的に車いすが必要になってもアクセスしやすいように考えています。ほかには、コロナ禍もあったので玄関近くに手洗いを設置しています。

柴田 実は弊社では、コロナ禍の前から玄関手洗いを子育て世帯向けに勧めていて非常に受けが良かった。初めは小さいお子さんの手洗い習慣などのために始めたものだったんです。

中野 今やスタンダードですよ。



平面図

その土地が持つ魅力

中野 平屋にしたのは、2階建よりも構成や空間に特徴をつけやすいし、より南幌町の風景に合う建物の形と、建築家らしい建物の形の両立ができるんじゃないかと思ったからです。

柴田 それと、南幌町に来るお客様は平屋が好きな方が多いんですよ。土地が広いこともあるのか、平屋希望で相談に来る方が多い。

中野 最近の札幌市内では、かつて大きかった土地もほとんど分割して売っていますから、郊外の広い土地が価値を持つようになるかもしれない。

現実的なコスト配分
中野 北方型住宅ZEROは省エネ基準よりもずっと先に行っています。それが、建材価格が高騰している昨今あっては建設コストの高止まりの原因になってしまふことを懸念しています。プロジェクトの概要的には太陽光発電・蓄電池を攻めてほしいんですが、コスト配分を現実的に考えて、今回のプランでは太陽光発電の容量をあまり大きくせず、外皮性能の強化に重点を置きました。

柴田 少し前までは賃貸の家賃と同じくらいの返済額でローンを組んで家が買えていたんですが、最近では難しい。そのなかでこれだけ高性能にして太陽光発電設備もつけるとなると、南幌町だからできるという感じですよ。

中野 どうしても太陽光設備は付けたら付けただけコストに跳ね返ってきますから。

現地から情報発信？
中野 参加されている皆さんそれぞれ、自分のSNSやホームページで情報発信されていますが、プロジェクト全体について道庁さんやSNSなどで発信してくれたらいいな。そこに参加者のSNSを紐づけるとか。

柴田 弊社が南幌町で施工した物件の完成見学会の話ですが、チラシや宣伝だけではなく実物を通りかかると見えて見学に来た人もいたんです。でも今回のプロジェクトでは現地に見るものがない。だったら、区画に大きな看板をどんと立てて、こういうプランをここに建てます！という感じで宣伝するとどう思うんです。見かけた人が、おやっと思つて連絡をくれますよ(笑)。